

内宮では、宮川権禰宜の案内により、施設や祭典の説明を二時間に亘って受け、前日に見学した御塩殿で作られた塩で祓いを受け、玉石を踏んで御垣内へ参入し、整列して御垣内参拝を行った。また、神楽殿では大和舞、人長舞等の奉納を行った。

研修としての神宮参拝を通じ、千五百年に亘り変わらぬ姿で、神を祀っている事を目の当たりにして神社のあるべき姿を実感する機会となった。



内宮神楽殿応接室で湯茶の接待を受け貴賓室の見学をする総代



台風23号の強風により倒れた檜

平成十六年八月三十日の台風十六号及び十月二十日の台風二十三号により、社殿及び境内樹木に被害が及んだ。

特に、台風二十三号は通過後の北風が強く、根が浅い檜が数本倒れたり傾斜した。

社殿の被害は、八幡神社本殿左側千木落下。神務室瓦一部剥離落下。両本殿亀腹漆喰剥離等であった。

▼台風の被害▲



修理のため台座石から外される玉垣

境内中段西側（神輿庫北）の玉垣は大正八年に奉納されているが、長年の風雨により石柱が台座石から遊離し危険な状態になっていたため、平成十七年三月分解し、アンカーボルトと石材用接着剤で固定する修理を行った。

▼玉垣修理▲

▼神輿庫屋根葺き替え▲



屋根葺き替え前の神輿庫 屋根葺き替え後の神輿庫

当社の神輿庫は大正十五年に、鹿島神社参道石段左側の玉垣あたりに建立されていたが、老朽化に依るものか或いは、玉垣設置に伴うものは定かではないが、現在の場所に新たに建設されたようである。

神輿庫の屋根は本瓦葺きで、壁は土壁の外に板を張って壁を保護している。前部の扉は近年作り替えているようである。

中には金色に輝く鶴崎神社神輿と八幡神社神輿が安置されている。

平成十四年秋季大祭時に天井に大きなシミができていたのを発見し、屋根に上がって調査したところ、南側の瓦が全体にズレており、棟木の下あたりは、瓦が無くなっていたため、急ぎ葺き替え修理を行う事とし、同年十二月に平葺き瓦に改めて改修を行った。

▼ジャズコンサート▲



リトモ・デ・コラによるジャズコンサート

平成十五年九月五日「リトモ・デ・コラ」のメンバー八名によるジャズコンサートとポピラーの紙芝居が開催された。

早島銀座実行委員会が主催した早島銀座アート展の一環で行われたもので、夕闇迫る中境内の特設ステージ周辺に「さをり織り」や絵のアーートを展示してライトアップを行い、メンバー得意のジャズが数曲演奏された。

▼総代研修・伊勢神宮参拝▲



内宮で金色の御正殿を見学する総代

平成十五年十月二十九〜三十日の一泊二日で、総代研修として伊勢神宮の参拝を行った。

総代の教養として神宮の深部に迫るために、二見興玉神社の浜参宮から始まり、神々に供える米を作る神田、野菜や果物を作る御園、塩を作る御塩殿の見学を行い予備知識を得た上で、外宮、内宮の参拝を行った。